

《平成 29 年度財務の概要》

平素はみどり学園の発展のため、多くの皆様方からご支援ご協力を賜りありがとうございます。皆様のご厚情に応えるべく、関係者一同本学園の学校教育機能向上のため日々の業務に励んでおります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、本みどり学園の本年度(平成 29 年度)の財務の概要を報告いたします。

- 平成 29 年度短期大学においては、より利便性の高い駅前学舎への移転後 2 年目の決算年度となりました。移転および新学舎設置等の経費の残額 3 億 1 千万円の支払資金で開始した予算は在学生数の減少する中、賃借料以外の教育・管理経費は縮小しましたが学舎の維持には当初計画より増室等で賃借料が昨年度よりさらに約 3 百万円増加してしまい、経費全体では新たな借入金を含めて 1 億 5 千万円の補正になりました。
- 短期大学の学生募集では全体で 50 名の新入生を迎え在籍者は 129 名、別科名となりました。これは 240 名の定員の 53.8%(前年度 75.0%)です。本年度も大阪府離職者等再就職訓練事業(介護福祉士コース)、認定こども園の教育・保育者としての資格を取得する特例講座を開講したことによって定員割れを若干補いましたが、次年度への支払資金も厳しいものになってしまいました。
- 短期大学設置 16 年目に入った本年度は、幼稚園を含む全体で 169,541 千円(昨年 221,289 千円)の学生生徒等納付金収入になりました。短大の学生数は減少しましたが、国庫補助金はほぼ昨年並みの 163,083 千円となり、特別寄付金は 4,288 千円でした。

一方、経費の方は学舎の賃借料が大きく、経費全体としては学生数に対応する減額は望めず短期大学の教育活動収支差額は△147,577 千円の赤字となりました。

したがって法人全体では本年度の基本金取崩額を差し引いた基本金組入額 38,989 千円によって翌年度繰越収支差額は△187,202 千円となり、昨年度は△54,277 千円まで縮小できた年来の赤字を再び大きくしてしまいました。

なお、短期大学では昨年度と同様、中長期的課題は引き続き教育活動収支における経常的な教育活動収入で経常的な教育活動支出を賄い、翌年度繰越収支差額を少しでも黒字にする方向に努力することに変わりはありません。
- 一方、長・短期借入金では次年度からの新事業資金として市中金融機関から新たに 154.996 千円を借入れ、本年度返済額 24,049 千円を返済し、残高は 220,118 千円となりました。また、短期大学部門の課題であった減価償却引当特定資産や退職給与引当特定資産の積立は、昨年同様次年度以降の課題とせざるを得ませんでした。

2018 年 6 月 1 日

学校法人みどり学園
理事長 平尾達夫